

## 学 校 評 価 総 括 評 価 表

重点課題	重点目標	自己評価			学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
		評価指標と活動計画	評 価	学校関係者の意見		
〔1〕 学習指導と進路指導の充実  (企画マルチメディア課)  (教務課)  (図書課)  (進路課)	①指導内容の精選や指導方法の工夫改善により、よくわかる授業を行うことで学習意欲を高め、基礎基本の確実な定着を図るとともに、課題を見出し、自ら考え行動し解決できる能力を育成する。  ②進路相談を充実し、個々の生徒に応じた支援をするとともに、集団の一員としての社会適応力や職業観を培い、生徒一人一人の進路実現を図る。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	<p>○授業に満足していないと感じる生徒の原因をしっかりと把握し、授業改善をしていく必要がある。また、授業に集中できるよう働きかけて、授業をさらに充実させて欲しい。</p> <p>○「計画的な学習」の項目では学習時間だけの評価になっている。定期考查や校外模試との相関を見るなど、何かの工夫が必要ではないか。</p> <p>○「主体的・対話的で深い学び」が実現できるよう工夫された授業を開発することで、さらなる授業力の向上及び授業満足度の向上を図りたい。</p> <p>○「きめ細やかな進路指導」の項目では、生徒・保護者と教員の間で乖離がある。指導内容の工夫の必要性など教師から見えていないものがあるのではないか。このあたりが工夫されれば、いい学校だという感覚が保護者や生徒に出てくると感じる。</p> <p>○来年度の共通テストを含め入試全般について教科主任等と連携を取りながら対策を考えていきたい。また、模試の精選をさらに進めたい。</p>	
		①-1 教職員は様々な工夫をして授業に取り組んでいる質問に対し「おおよそ当てはまる」以上が80%以上。	・教職員は様々な工夫をして授業に取り組んでいるかの質問に対し「おおよそ当てはまる」以上が97%であった。	A (評定)  B (所見)		
		①-2 授業に対して満足している質問に対し「おおよそ当てはまる」以上が80%以上。	・授業に対して満足しているかの質問に対し「おおよそ当てはまる」以上が87%であった。	A (評定)  B (所見)		
		①-3 計画的な学習ができている、意欲を持って授業に取り組んでいる質問に対し「おおよそ当てはまる」以上が80%以上。	・計画的な学習は57%、意欲を持って授業に取り組んでいるが90%であった。	B (評定)  B (所見)		
		①-4 授業時数の確保率を83%以上。	・年度末において、商業科、普通科とも83%以上になる見込みである。	B (評定)  B (所見)		
		①-5 図書室の利用活性化のために、各学期に2回以上、企画展などを行う。	・各学期に2回以上、企画展を開催し、生徒の参加も活発であった。	B (評定)  B (所見)		
		②-1 一人一人に対応したきめ細かな進路指導が行われているという質問に対し「おおよそ当てはまる」以上が80%以上。	・生徒約73%、保護者76%であり達成できていない。	C (評定)  C (所見)		
		②-2 大学合格実績において、旧帝大等難関10大学・医学部医学科合格を10%以上。	・旧帝大等難関10大学医学部医学科合格は12名で8.7%で、達成には至らなかった。	C (評定)  B (所見)		
		②-3 商業科において、全商1級3種目以上取得者20%以上、就職内定率100%。	・全商1級3種目以上取得者10%、就職内定率100%であった。	B (評定)  B (所見)		
		活動計画	活動計画の実施状況			
		①-1 相互授業参観や授業研究会、職員研修等を年間2回以上実施して授業力の向上を図る。	・相互授業参観は1学期と2学期に実施した。職員研修会は、1学期に1回「情報セキュリティ研修」を実施した。			
		①-2 電子黒板、生徒用タブレット等ICTの活用による授業、すなわちGIGAスクール構想を推進する。	・Chromebookが導入され、タブレットの活用が進んだ。研究授業の際にタブレ			

			ツトを使用する授業が多くなされた。		
	①-3、②-1 授業評価アンケートを行うことで目標達成度を評価し、その結果を授業改善につなげる。		・授業評価アンケートは1学期末に1回実施した。集計結果は9月に返却できた。		
	①-4 学校行事の精選、各学期末考査後の日程、授業実施曜日のバランス等、年間を通じての入念な計画を立て、授業時数確保に努める。		・学校行事を精選し、関連する課が連携して、バランスを取りながら計画し、授業時数を確保できた。		
	①-5 図書室利用を増やすために各種企画を行うとともに、必要な図書を増やす。		・本年度蔵書を約600冊追加した。SDGs、人権教育、キャリア教育などの資料充実が図れた。		
	② 教科のスポット補習を実施する。また、2週間に1回のペースでテストを始めたと遅進生徒の発見の手立てを講じ、生徒の学習指導を支援する。		・地歴公民の補習も含め必要な補習を実施できた。遅進生徒の発見の手立ては引き続き検討を要する。		
[2] 中高一貫教育の充実 (教務課) (企画マルチメディア課)	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		
①中高教職員の緊密な連携のもと、指導方法の工夫改善や教科横断的な学習の充実を図り、6年間の計画的・継続的な指導を行うなか、生徒の個性や能力を伸長させる。	①-1 中高一貫教育研究委員会を年間2回以上。	・中高一貫教育研究委員会を1、3学期に各1回実施した。	A (評定)	○中高一貫校の特色を出し切れていない。現在のはたらきかけは継続し、6年間でできることと3年間でできることの違いを考え、特色を活かすことが大切である。  ○中高が連携したユネスコスクールの取組が十分にできなかった。徳島県教育大綱に示されたようにあらゆる教育活動をSDGsに関連づけて実施できるよう効果的な取組を強化していきたい。	
	①-2 中高教職員による相互授業参観や事後研修会を年2回以上。	・中高教職員による相互授業参観を1、2学期に各1回実施した。研究授業の授業参観・事後研修も複数回実施した。	A (所見)		
	①-3 中高教職員による授業交流を複数の科目で実施。	・数学と英語の科目において例年通り中高教職員による授業交流を実施した。今年度から国語も一部実施した。	B (評定)		
	①-4 中高合同教科会を各学期1回以上。	・中高合同教科会を各学期にそれぞれ1回ずつ実施した。	A (所見)		
	①-5 ESD（持続可能な開発のための教育）活動について連携し、中高合同の講演会や発表を年1回以上。	・3月に中高合同課題研究発表会（中2と高2）及び卒業生の話を聞く会を実施予定。	B (評定)		
	活動計画	活動計画の実施状況			
	①-1 有効で実施可能な案を事前に検討し、委員会では具体的な検討を行う。また、内進生の6年間成績の推移を用いて向上対策を検討する。	・教員の負担を大きく増やさないで中高連携や成績向上を図る新たな方策があまりないのが現状である。		○行事が過多にならないよう精選を進めつつ、中高一貫教育研究委員会における協議を活性化させ、具体案を	
	①-2 相互授業参観を1、2学期に各1回計画	・中高一貫教育研究委員会を			

		<p>し、校種を超えた授業を参観することができた。また、研究授業後の研修会へも参加した。</p> <p>①-3 国語・数学・英語を中心に中学校の授業に高校教員が入ることで、併設型中高一貫教育のメリットを活かした指導法や指導体制を検討する。</p> <p>①-4 各学期初めの職員会議後に中高合同教科会を行う。</p> <p>①-5 ESD 活動（ユネスコスクールの取り組み）を推進し、年間 2 回以上の関連行事を行う。</p>	<p>1、3 学期に各 1 回実施した。 研究授業ではその教科の教員が研修会に参加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国語は必要に応じて各学期 1 回程度、数学は 1 学期から、英語は 3 学期から高校教員が習熟度別に分けて授業に入っている。その他芸術・体育以外は入っていない。さらなる改善の余地はあると思われる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>中高合同教科会を各学期にずつ実施した。</li> <li>「服のチカラプロジェクト」で子供服を集めの活動は、今年度も行った。 高校生に対しては対面での講演会を 1 回実施した。</li> </ul>	<p>○中学・高校とも志願者が減っている。学区制がなくなると阿南の高校は危機感を持たなくてはならない。富東を魅力化していく必要がある。進学も工夫した進学でないとダメである。部活動も盛んなどいろいろな魅力を打ち出していかないと中学生は来ない。</p> <p>○中学校及び高校の志願者増につながるよう学校の魅力を再検討し、広報活動を強化する必要がある。</p>	
[3] 豊かな心を育む 教育の推進  (生徒指導課)  (人権教育課)	<p>①教育の全領域において、時間厳守、身だしなみ、マナー等の基本的生活習慣を身につけさせるよう努める。</p> <p>②学校・家庭・地域社会との連携を深め、豊かな人間性を身につけさせ、さまざまな人権問題の解決のため、主体的に取り組む能力・実践力の育成に努める。</p>	<p>評価指標</p> <p>①-1 年間遅刻回数 20 回以上の生徒 0 人。</p> <p>①-2 学校評価アンケートで身だしなみがきちんとできていると自己評価する生徒の割合を 90 % 以上。</p> <p>②-1 生徒対象アンケートで「人権問題について意識し、差別をなくすために行動したい」とする回答が 80% 以上。</p> <p>②-2 保護者・教職員対象アンケートで「人権を尊重するための様々な取組が行われている」が 80% 以上。</p>	<p>評価指標による達成度</p> <p>①-1 年間遅刻回数 20 回以上の生徒 0 人。 ・遅刻回数 20 回以上の生徒（2 学期末現在）は 2 人いた。</p> <p>①-2 学校評価アンケートで身だしなみがきちんとできていると自己評価する生徒の割合を 90 % 以上。 ・「身だしなみがきちんとできている」にあてはまると自己評価した生徒の割合は 94.2 % であった。</p> <p>②-1 生徒対象アンケートで「人権問題について意識し、差別をなくすために行動したい」とする回答が 80% 以上。 ・「行動したい」という積極的な意見は 41 % であったが、「学習することで意識をするようになった」という前向きな意見が 69 % であった。また、人権学習に積極的に参加した生徒は 54 % と、前年度と比べ 7 % 増加した。</p> <p>②-2 保護者・教職員対象アンケートで「人権を尊重するための様々な取組が行われている」が 80% 以上。 ・「おおよそ当てはまる」以上の回答が教職員 100 % 、保護者 89 % 、生徒 95 % であった。</p>	<p>総合評価</p> <p>(評定) <b>B</b></p> <p>(所見) A ・特定生徒の遅刻回数が多く、昨年度より 1 人減ではあったが、数値目標は達成できなかった。 B ・基本的生活習慣や身だしなみに気を配っている生徒が多く、良好な学校生活が送られている。</p> <p>A ・高校 3 年間、人権 HR をはじめとする教職員や学校全体での様々な取組や家庭の協力の成果があったと考える。</p>	<p>○生徒の声を聞いてあげて欲しい。対面では言えないことを匿名でも言える関係性をつくって欲しい。</p> <p>○スクールカウンセラーが、今後ますます重要な役割を担う。専門的な知識を持った、心理学などを研究された方にきていただき機会を検討いただきたい。</p> <p>○継続的な啓発・学習が重要である。生徒・保護者・教職員が意識を高められるよう、年間行事の時期、内容について課内で検討し、充実したものにできるように努めたい。</p>
		<p>活動計画</p> <p>①-1 多遅刻者には、保護者への連絡を密にする。</p>	<p>活動計画の実施状況</p> <p>①-1 遅刻者には、その都度指導し、生徒理解につなげた。</p>		

[4] 特別活動の充実 (特別活動課) (環境防災課) (保健厚生課)	<p>①部活動や生徒会活動等において、生徒の自主的活動の育成を図るとともに、活力あふれる学校づくりに努める。</p> <p>②環境問題への意識高揚と校内環境美化に努めるとともに、安全教育の徹底と健康増進の積極的指導に努める。</p>	<p>評価指標</p> <p>①-1 生徒会新聞を年間3回以上発行。今年は特に部活動にスポットを当てPR。</p> <p>①-2 球技大会のアンケートで満足度を81%以上。</p> <p>②-1 避難訓練を各学期1回以上。</p> <p>②-2 アンケートで「校内美化活動に積極的に取り組んでいる」の割合が80%以上。</p> <p>②-3 保健だより等を月1回発行。</p> <p>②-4 規則正しい生活習慣を確立するための指導を1、2年生を対象に年2回実施。</p>	<p>評価指標による達成度</p> <p>①-1 生徒会新聞の発行はできなかつたが、生徒会主体の壮行会を多く行い、部活動にスポットを当てることができた。</p> <p>①-2 90%の生徒が満足と回答。継続する。</p> <p>②-1 1学期2回、2学期2回、3学期1回（初動確認含）実施</p> <p>②-2 校内美化に関する生徒の自己評価73%</p> <p>②-3 保健だより、カウンセラー便り等を発行した。</p> <p>②-4 1年生を対象に、生活習慣改善プロジェクトを年2回実施し、生活習慣改善に向けた取り組みを行った。</p>	<p>総合評価</p> <p>C (評定) <b>B</b></p> <p>A (所見)</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>B</p>	<p>○服装・頭髪等の指導は徹底して行うが、「適正な校則の運用・見直し」の実施に伴い職員・生徒の共通認識のもと校則を運用していくことが難しくなると予想され、今後の課題と捉えている。</p> <p>○身近な問題として考えられる生徒が増えるためには、教職員の人権感覚を高めていくことが必要である。教職員研修の場を充実したものにできるように努めたい。</p> <p>○人権新聞の取組は、受け身の生徒が多くいないのか。受け身で得られるものもたくさんあるが、実感値みたいなものが数値でとれたら、他校との差別ができるのではないか。</p> <p>○掲示板等で部活動等の諸活動を発信しているが、生徒会での各種啓発活動を活発にしていく。</p> <p>○講演会等による集団への指導や、保健委員会活動を計画していきたい。</p> <p>○訓練について、地震津波の他、場面に応じた避難ができるよう各学期で実施していく。</p>

活動計画						活動計画の実施状況		実施課題	
<p>①-1 アフターコロナ時代に合った部活動・生徒会活動を活発にする。</p> <p>①-2 球技大会はアンケートで種目を決定し、生徒が主体的に運営する。</p>						<ul style="list-style-type: none"> <li>通常に近づいた状態で活発に実施できた。</li> </ul>		<p>たが、9月の文化祭で阿南保健所と連携した保健展を実施した。</p> <p>講演会等の集団に対する保健指導の機会を少しずつ増やしていきたい。</p>	
<p>②-1 生徒防災委員長がアピール放送を行い、防災意識を高める訓練を行う。</p> <p>②-2 毎日の清掃活動を「5分前」に取りかかる姿勢を身につけさせる。また、モノを大切に使う精神や分別作業を徹底するため啓発活動を積極的に行う。</p> <p>②-3 電気・水道使用量を広報し、節電・節水を呼びかける。</p> <p>②-4 生徒保健委員会を活用し、保健だよりを作成する。</p> <p>②-5 生活習慣改善プロジェクトを活用し、睡眠や肥満予防についての指導を実施する。</p>						<ul style="list-style-type: none"> <li>2学期は中3も参加して実施。また、先生チームとの対戦も実施し、大いに盛り上がった。</li> </ul>		<p>放送は実施しなかったが、防災訓練や文化祭で啓発活動を実施した。</p> <p>毎日清掃活動5分前の放送を委員会で実施し、取り組みに意識付けを行った。</p> <p>ポスターの掲示により呼びかけを行った。</p> <p>生徒保健委員会での発行はできなかった。</p> <p>睡眠については保健だよりに掲載し、肥満指導は対象者に個別指導を行った。</p>	
<p>[5] 家庭・地域社会との連携による「社会に開かれた教育課程」の推進 (総務課)</p> <p>(教務課)</p> <p>(進路課)</p> <p>(環境防災課)</p> <p>(企画マルチメディア課)</p>						<p>評価指標</p>		<p>評価指標による達成度</p>	
<p>①情報公開を積極的に行う。</p> <p>②家庭・地域社会と連携・協働しながら、生徒の能力を伸長する教育課程の実施に努める。</p> <p>③学校評価や学校運営協議会制度を活用して、教育方法や学校運営の改善を図る。</p>						<p>A (評定) B (所見)</p>		<p>○生徒の発想でのホームページの配信を検討していただけた。大人とは違う発想で生徒がいきいき活動できれば富岡東高校の魅力が高まる。</p> <p>○ホームページを更新する教員が偏っている現状がある。ホームページは広報活動の最大の機会であるので、校内の更新者が増えるよう呼びかけを強化していきたい。GIGAスクール構想への対応も積極的に進めていく必要がある。</p>	
<p>①-1 ホームページのアクセス数が年間200万件以上。</p> <p>①-2 ホームページの更新回数は、年間200回。</p> <p>②-1 PTA総会の保護者参加率50%以上、文化祭一般公開日の来校者数1,000名。</p> <p>②-2 各学年の「保護者対象進路説明会」保護者参加率60%以上。</p> <p>②-3 地域との合同避難訓練の参加者数を30名以上。</p> <p>③ 学校運営協議会を年間2回以上開催。</p>						<p>A C B C C A</p>		<p>・1/28まで約280万件であった。</p> <p>・1/28まで新着記事は99件であった。その他の把握できていない。</p> <p>・PTA総会の保護者参加率は29%。(授業参観参加率は68%) ・文化祭一般公開日の来校者数は1,039名であった。</p> <p>・参加率は50%で達成できなかった。(普通科58.9%、商業科10%)</p> <p>・日程の確保ができず、実施できなかった。</p> <p>・2回目の学校運営協議会を2月に実施する</p>	

			予定である。		
		活動計画	活動計画の実施状況		
	①-1 生徒や保護者には、定期的にHPを閲覧するよう呼びかける。		・家庭への連絡事項も多かったためか閲覧者は増加した。		
	①-2 学校行事や部活動実施後にホームページを更新する。		・何度か更新を呼びかけたを行ったが、更新回数は不十分とは言えない。		
	②-1 生徒・保護者・地域社会・学校が一体となって、充実した教育活動が実践できるよう努める。		・保護者の方々の御理解、御協力により、安心・安全な教育活動を行うことができた。		
	②-2 進路に関する情報提供を積極的に行う。		・概ねできたと思われる。PTA研修旅行は今年も実施できた。		
	②-3 自主防災組織との合同訓練を行うことで、地域との連携を図り、共助の精神を養う。		・実施できなかった。		
	③ 学校評価アンケートを2学期末に実施し、その結果をもとに3学期に学校運営協議会を開催する。		・学校評価アンケートを12月に実施した。2月に第2回学校運営協議会を実施する予定である。		
〔6〕 伝統を受け継ぐ さわやかな校風 の樹立  (生徒指導課)  (環境防災課)	①文武両道を遂行し、礼儀正しく「さわやかで活力あふれる富東」の精神を高める。  ②地域社会の期待に応えるとともに清潔な環境の中で、心のふれあう校風を樹立する。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
		① 学校評価アンケートで「友だちや先生にきちんとあいさつができる」と自己評価した生徒は、92.8%と目標を達成した。	A (評定)  A (所見)	○先生方もよく頑張っている。生徒もものすごく元気にあいさつをしてくれる。元気な教員によってあいさつ運動を継続していただきたい。	○校舎内ではよくあいさつができる印象であるが、通学時や外来者のあいさつの声が小さいという指摘がある。形式的なものではなく、どのような場面でも心のこもったあいさつをすることの大切さを伝えたい。キヤッチフレーズ「挨拶で心ふれ合う富東」を体現できる生徒を育成したい。
		活動計画	活動計画の実施状況		
	① 生徒会や生活委員会のあいさつ運動を活性化させ、生徒から自発的にあいさつができるよう働きかける。		・月1回、生徒会や生活委員会によるあいさつ運動を実施して活性化を図った。		
	② HR活動でごみゼロ運動の日を設定し、学校周辺の校外清掃活動に取り組む。		・学校周辺や避難経路の清掃を学校全体で実施した。		